



2008年10月15日

第60号

発行人：大田 和人

発行：特別養護老人ホーム白島荘

〒562-0012 箕面市白島3-5-50

TEL：072-724-5511

FAX：072-720-2054

ホームページ：http://www.osj.or.jp

メール：hakusima@hcn.zaq.ne.jp

「いきいき暮らし、地域で支える」をテーマに開催された
「光明の郷まつり」でのシンポジウム風景



「地域との共生を目指して」 副施設長 影山 晃

箕面市の中央部に位置する白島荘は、要介護状態にある高齢者の皆様が生活する特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）として24年目を迎えました。特別養護老人ホームは、かつては人里離れた閑散とした場所に建てられることが多く、住み慣れた地域や家族から離れた終の住家というイメージから、姨捨山的な存在として暗く悲しい場所であるという偏見が少なからずありました。

しかし、その後施設は、「収容の場」から「生活の場」へという発想の転換が行われ、更には施設の社会化の考え方が定着しました。施設の存在を地域に対してアピールし、ボランティアの受け入れ、地域行事への参加を通じて地域と日常的に交流を行うことにより豊かな人間関係を深めることや入所施設の機能を地域の社会資源として活用してもらうよう努力するなどの意識改革が行われました。

一方で、福祉サービスの対象となる人や福祉的課題を抱える人が、自宅での生活を継続させたい、あるいはこれまで暮らしてきた地域で引き続き生活したいと願ったとき、その状態や状況に応じて医療や福祉など様々な社会資源（サービス）を利用しながら在宅生活を継続するという仕組みを構築することによって、地域の一員として尊重されなければなりません。

白島荘は、「施設」を地域の方々が利用するという選択の幅をより広げるために、平成14年3月にグループホーム「華の家」、平成20年4月には小規模多機能型居宅介

護事業所「ひねもす」といった地域密着型サービスを開始しました。また、光明の郷ケアセンター（平成16年）、居宅介護支援事業所（平成11年）、訪問介護事業所（平成12年）といった在宅サービス事業も実施しています。

小規模多機能型居宅介護事業は、「通い」を中心に「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、入浴・排泄・食事等の介護や機能訓練などを提供する施設で、従来は宅老所と呼ばれて存在していたサービスのことですが、平成18年の介護保険法改正により新たに設けられた「地域密着型サービス」の一つです。利用する人にとっては、まさに箕面市の中に自宅と別荘があるという感覚です。地域密着型サービスは、自宅の近くにサービスの拠点があり、様々なサービスを受けられるので住み慣れた地域で暮らし続けることができると注目されており、白島荘も「箕面市密着」に貢献したいとの考えによります。

また、光明の郷ケアセンターでは、7月にセンターの活動内容を広く地域の方々に知っていただき、社会資源として利用していただくために、事業紹介、介護相談、認知症についての講演会などを内容とした行事を実施し、多くの方にお越しいただきました。

「この地域に白島荘があったおかげで、様々な福祉サービスの利用がスムーズに進んで助かった。」と言われる様に、白島荘が地域の福祉拠点として機能すると共に、多くのサービスを提供する事業所の一つとして存在し続け、今後も地域のお役に立つよう努めてまいります。

ようこそ 白島荘へ



字を書くのが好きで、えんぴつと紙を持ち歩いています!

佐藤 為章様



テレビでスポーツ観戦をするのが大好きです。

毛原 工様



皆さんと一緒に、おやつを食べたり、楽しく過したいです。

吉井 エイ様



昔コーラス部に入っていて歌を歌うのが大好きです!

中川 末子様



読書と書道が大好きです。よろしくお願いします。

小林 ユキ様

介護科おもちゃ話

五月山動物園

7月10日に3階のご利用者3名と共に池田にある五月山動物園に行ってきた。道中の車の中では、「私はこの辺りに住んでいた」と懐かしみ、会話も弾みました。動物園では鹿やアライグマを見て、みなさん、自然に笑みがこぼれていました。ご利用者からも「かわいいねえ」と言う声も聞かれています。最後には、普段なら食べられないような大きなカキ氷を、暑さの為かあという間にペロリ！ご利用者にとって楽しい一時となったようです。今後ご利用者の皆様に喜んで頂けるような事を企画していきたいと思ひます。

介護科 室谷 美佐



盆踊り大会

8月2日(土)「ここ一番という時には雨降る!!」というご利用者の声もある中、日頃の行いが良いせいか晴天に恵まれ、夕食後より白島荘駐車場で盆踊り大会が行われました! 浴衣やハッピーを羽織るとご利用者もいつもと違った様子で自然と笑顔が見られます。ボランティア様や職員



と一緒に踊りに参加される方、太鼓やかけ声で参加される方、多くの参加者で会場は大盛り上がり! 休憩時間に新人職員を中心とするフォークダンス大会も行われましたが、その中にもご利用者・ご家族が加わり熱冷めやらず! 最後は花火で大爆発!! 来年も多くの参加お待ちしております♪

介護科 八木 真喜子



ボランティア交流会 2008

白島荘では、昭和60年開設以来、多くのボランティアの方々にご協力いただいております。現在では、華の家や光明の郷ケアセンターなど多くの事業所を運営しており、より多様な領域でボランティアの方々のご支援を頂くようになってきております。

この度、これまでの謝意をお伝えすると共に、日頃の活動を通じて感じておられることとお話し頂こうと、平成20年8月23日(土)にボランティア交流会を開催いたしました。当日は、日頃お世話になっているボランティア様に加え、地区の民生委員の方もご参加いただきました。

冒頭に箕面市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターからレクリエーションをしていただいたこともあり、全体に和やかな雰囲気で行いました。しかし、小グループに分かれての座談会では、とても熱の入った意見交換の場となり、皆さまが真摯に活動いただいていることがひしひしと伝わるとともに、様々なご指摘を頂くことも出来、とても貴重な場となりました。

様々なハンディキャップを抱えたご利用者の方々の生活を支えるためには、私達職員のみでは限界があります。今後も、ご利用者の方々の生活が少しでも潤うように、ボランティアの皆さまと共に歩を進めていきたいと思っております。

主任相談員 眞壁 卓也



医務室だより 知っていますか?ノロウィルスのこと!

ノロウィルスはウィルス胃腸炎の主要な病原体で、冬季にカキなどを介した集団中毒を起こすほか、密接な接触によるヒトからヒトへの感染が、家族内や学校・福祉施設などで多発します。1～2日の潜伏期間を経て、下痢・嘔吐・腹痛・軽度の発熱などの症状が1～3日続きますが治癒し、後遺症はほとんどみられません。ただし、高齢者や乳児は脱水をおこしたり、嘔吐物が誤って気管に入り、誤嚥性肺炎を起こしたり、喉に詰まって窒息することがあるので注意が必要です。

また、症状が消えても、糞便中に通常で1週間ウィルスが排出されています。施設において感染自体を完全に無くすことは難しいですが、ウィルスを持ち込まないことが重要です。

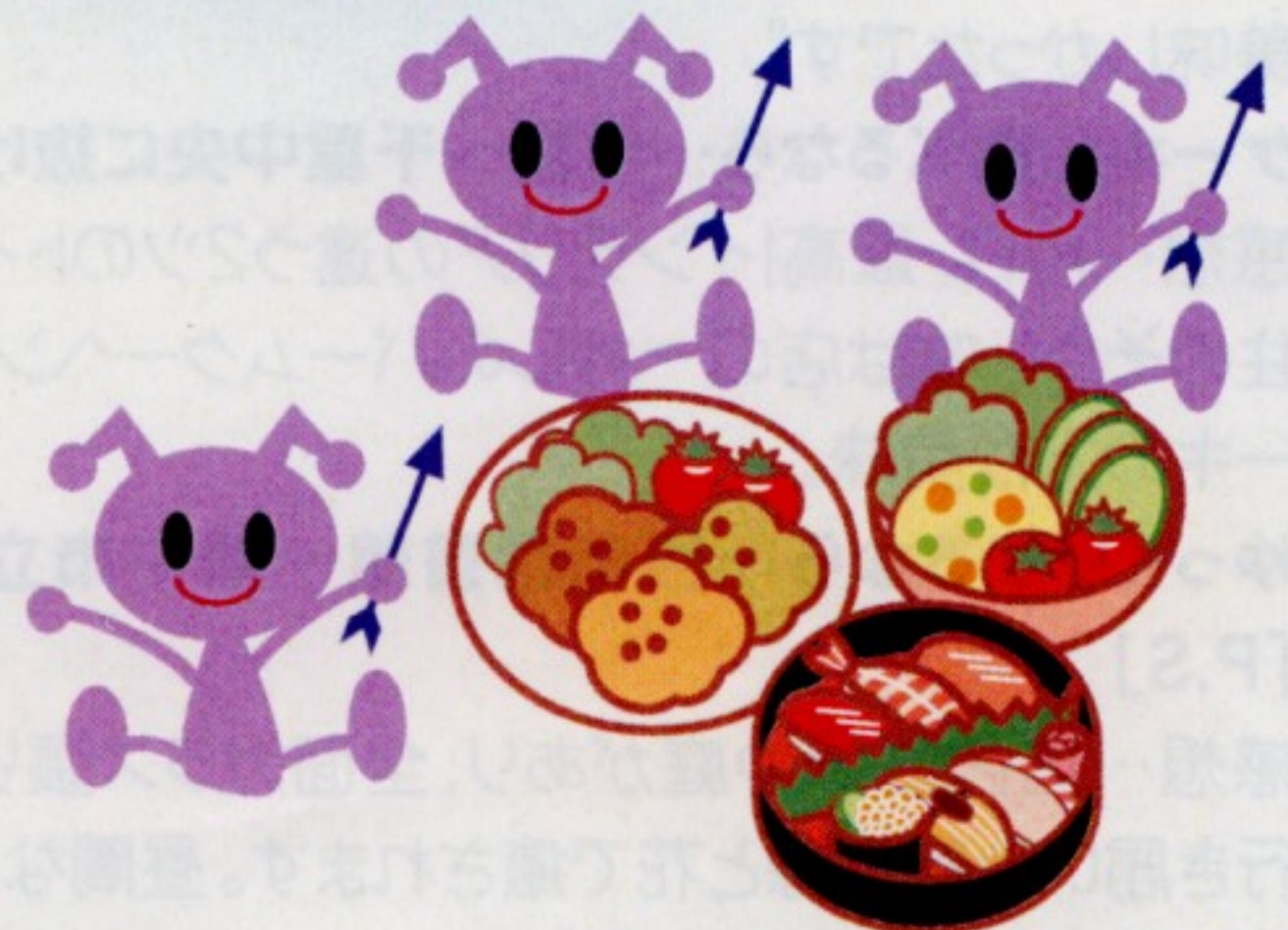
職員一同、感染症対策の基本を徹底し、感染源・媒介者にならないよう心がけると共に、ご家族・ボランティアの皆様方にも、体調不良時などはご来荘を控えていただきますようお願いいたします。ご来荘時には必ず玄関横の手洗い場にて、うがい・手洗いのご協力をお願いいたします。

《お知らせ》

これから、インフルエンザの流行にも注意が必要です。インフルエンザにはワクチン接種が有効とされています。当施設におきましても、今年も11月～12月に実施予定としています。

常にご利用者様の傍にあり、信頼される『医務室』をめざします。ご不明な点がございましたら、いつでもお問い合わせください。

看護職員 石津 由美子



栄養科だより

「焼いた・食べた・バーベキュー」

怪しい者ではありません。女性にこの日差しは天敵だわ…

今年の夏、5回に分けて実施いたしましたバーベキュー昼食をたくさんの利用者様に楽しんでいただきました。肉は北海道産特選和牛ヒレ。ウインナー、海老、南瓜やアスパラ等もこんがり焼けていく様子をご覧頂き、焼きたてを召し上がっていただくことが出来ました。「肉おいしいよ。他はいつでも食べられるから、今日は肉をしっかり食べるわ」と利用者様。施設内の中庭ではありましたが、屋外での食事に食欲も上々。



夏場の行事ゆえに残した課題があります。

課題1 「ちょっと暑いわ、温度下げてえ」と利用者様。「無理です…」と職員。

課題2 焼き役栄養士3人の日焼け対策武装が異様だった。

今後は秋の行事として定例化できたらと思います。 管理栄養士 辻 美奈子

グループホーム 「華の家」通信

華の家近況



おいしいお味噌汁のできあがり



布で何を作ろうかなあ

暑い夏でしたが、ご利用者に「今年の夏はいかがでしたか」とお聞きすると、「まあまあやねえ、病気もせんかったし」と答えてくださっています。夏の間は家事をして頂いたり、お裁縫をして頂いたり、室内での活動が中心となっていましたが、これから過ごしやすい季節を迎えて、外出等屋外での活動を楽しんでいただきたいと思っています。行き先を皆様にご相談すると「宝塚歌劇!」「カルフルでお買い物!」「お金のかからないところやねえ」等たくさんあり、今後もスケジュールはいっぱいです!毎日の生活をゆっくりと楽しくすごしていただけるよう、職員皆で、努力していきたいと思ひます。

所長 岩崎 裕美

在宅応援団

ヘルパー奮闘記

今回は、登録ヘルパーさんの訪問と訪問の間の時間の過ごし方を聞いてみました。リサーチしたものを一部紹介します。

【パート1】気分転換のティータイム

※コーヒーの美味しいお店…サンデー近くの「U.C」感想…タクシードライバーご推薦のお店"本当に美味しかったです"



※ケーキも食べるなら…今宮～千里中央に抜ける「M.S」感想…トイレ最高!インテリアの違う2つのトイレ、どちらも住めそう! 味は店の一押しのパームクーヘンよりロールケーキの方が美味。

※ゆっくりするなら…西南図書館～豊中市立病院への道「P.S」感想…店内には中庭があり、全面ガラス張りです手入れの行き届いた庭の緑と花で癒されます。昼間なら暖かい日差しが眠りを誘います(∩o∩)

【パート2】主婦目線、スーパー巡り

- ※おいしいメロンパン…山麓線の「スーパーM」バツグンに美味しい!
- ※ユニークなガードマン…山麓線の「MX」の駐車場の誘導員、踊ってます。
- ※安さを求めるなら…171号線沿い「Gスーパー」
- ※旬を追求するなら…171号線と山麓線の間の道「石丸朝市」水・土・日曜日の12時まで



【パート3】緊急事態発生! 1号トイレに行きたくなったら

- ※西の方面…西南図書館、桜ヶ丘図書館
 - ※中央方面…ライフブラザ、サンブラザ
 - ※東の方面…東生涯学習センター、白島荘
- バイク等が止めやすい所が一番(なんせ緊急事態なんで…)もちろんコンビニもありますが、何も買わずには出にくいです。
- もっと色々な情報(グルメ・マッサージ・お風呂等々)は次回をお楽しみに。
- 在宅総括主任 三原 直子



光明の郷ケアセンター新聞



(老人デイサービス) 3時のお楽しみ…

3時のお楽しみと言えば、今も昔も“おやつ”ですよ。老人デイサービスでも、3時の喫茶コーナーは昼食の次に皆さんが楽しみにされています。そこでは、コーヒー・紅茶等各種飲み物の中から好きな物を選んで頂きます。そして一品!お饅頭にロールケーキ、バームクーヘン等々、日替わりでお菓子をお出ししております。



また定期的に白島荘の栄養士主催で“手作りおやつ教室”が開かれ、皆さん手作りであんこを包んだり、巾着絞りをしたりと、簡単な作業ですが皆さん楽しそうにワイワイガヤガヤ、楽しく。その後はそれぞれの方のお口の中へ…いくつになっても“おやつ”っていいですね。

(主任相談員 西川 知足)

豆知識…

おやつ「やつ」は、午後二時から四時までをさす江戸時代の言葉「八つ」だそうです。江戸時代中期頃までは一日二食だったため、「八つ刻(やつどき)に小昼(こびる)」と書いて間食をしたことから、この時間の間食を意味するようになったそうです。
へえ～。

ひねもす日記

〈小規模多機能型居宅介護事業所〉



ただいま“ひねもす”では敬老祝賀会『素人名人会』の出し物の練習に日夜大奮闘中で～す!演目は【野崎小唄】利用者様が歌と踊りのパートに分かれて本番さながらの大熱演(*_*) スタッフからはヤンヤンヤの大喝采!!名人賞間違いなしの仕上げです?!スタッフも負けじと衣装作りで応援をと裁縫を始めたら、利用者様から「私が縫ってあげよ」と数人の方がお手伝い…手際の良いこと(感服しました)



そしてイヨイヨ衣装合わせ…「あんたよう似合ってるわあー」「若返ったねえ～」「化粧もせなあかな」等々、すっかり芸能人になっておられます(ヨッ!大統領)本番に乞うご期待!!こんな雰囲気“ひねもす”の利用者様スタッフ揃って

行動的かつ積極的で何事もチームワークよろしく一致団結、毎日を元気に若々しく過ごしています。

現在、“ひねもす”の登録者数14名「通い」は1日8～9名で《ゆっくり・優雅に・ほ～んわか》を合言葉にゆったりとした日々を送って頂いています。是非、お近くにお越しの際は、癒されにお立ち寄り下さい。〔熱烈歓迎〕

管理者 三原 直子

(障がい者サービス事業)



この夏の思い出話を少し。今年の3階地域活動支援センターは、思い切り暑い夏を過ごしました。夏休みの間は、普段は支援学校や地元中学に通っているために短時間利用の仲間も朝から一日の利用となります。だから朝から賑やかなこと。活動も多彩で全館合同企画の光明の郷祭りの準備、盆踊り、ボランティアさんとの交流、おやつ作り、宿題タイム、引越しをされる仲間のお別れ会、新しい仲間の体験利用…。この間、若いパワーをひねもすと老人デイのご利用者、スタッフ、多くのボランティアの皆さまと、階や世代を越えた協力で、ジェネレーション・ギャップも何のその、“光明の郷”のパワーで楽しい時間を過ごすことができました。



今はフロアの空気も落ち着き、10月に予定している合同作品展の準備を進めています。

「“光明”って楽しい。明日も来るから。」3階の仲間からこの一言が聞けるのは地域と共に歩んでいればこそとちょっと誇りに思っています。

(主任相談員 瀬川 万里子)

敬老祝賀会

平成20年9月14日(日)。秋晴れのもと、敬老祝賀会が盛大に行われました。

式典では、白寿、米寿、喜寿を迎えられた方をはじめ多くの方々にご列席いただきました。皆様の代表としてお話をいただいたご利用者が感激のあまり言葉に詰まる場面も見られました。

午後は、例年ご利用者が楽しみにしておられる西川きよし様と御一行様による素人名人会が行われました。今年は新たに「ひねもす」のご利用者も加わり、皆様、日頃の練習の成果を披露されておられました。演目間で取り交わされる西川きよし様とご利用者とのやり取りで大爆笑が起



こる場面もあり、大いに盛り上がりました。

来年も、ご家族をはじめ多くの方楽しんで参加していただける敬老祝賀会にしたいと思います。
行事委員 渋谷 徹

家族会



白島荘家族会会長
小泉 龍朗

白島荘利用者の家族で構成する家族会は、平成四年に発足し一時中断を経て十一年に復活、私は十三年に会長を引き受けて現在に至っています。役員任期は一年で総会時に会員の互選により決定し再選は妨げないとの規約です。入所者が退所されますと自動的に辞任になります。現在は二名の欠員がありますので参加いただきたくお願いいたします。

家族会は会員相互の親睦と連携を深め利用者の福祉向上を図ることを目的としておりバザーの収益と寄附を財源として、テント、こいのぼり、テレビなど利用者の生活に寄与できる品々を寄贈してまいりました。また定期的に白島荘担当者との会合をして運営にかかわっています。昨年総会後に入所された方が20名以上おられるので面識のない方もあると思います。一階エレベータ前に名札を用意していますので来荘の際に胸につけ挨拶を交わすことで家族間の親睦を深めたいと考えています。

平成20年度家族会役員名簿

役職	ご家族氏名
会長	小泉 龍朗様
副会長	井上 芳博様
副会長	阿部 節美様
幹事	高津 有子様
幹事	浅井 雄二様
会計	原 朋子様
会計監事	石川 一様

安全管理委員会からのご連絡

秋晴れが続いておりますが、皆様お変わりございませんでしょうか。さて当荘では転倒などの事故を出来るだけ少なくする為に安全管理委員会を設置しております。事故の原因の究明、同じような事故を未然に防ぐ対策など、ご利用者に出来る限り安全で住みやすい環境を整える努力をしております。

これまでも事故やヒヤリ・はっと事例等が起きた際にはご家族様へご連絡することを心掛けてまいりましたが、今後はご家族様との関係をより密にし、より良い関係作りを目指していきたいとの趣旨で、これまで以上にご家族様への連絡を積極的におこなう姿勢を持っていきたいと考えております。

今後とも皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

安全管理委員 介護主任 久保 卓也

編集後記

今年の夏は例年にも増して暑さが厳しく、職員は暑さにすっかり参ってしまいました。しかし、ご利用者の皆さまのお元気なことと言ったら、本当に感心してしまいます。私たちも皆さまに負けないように頑張ります!!

